



The Y's MEN's CLUB of

もりおか

<VOL208.2025.4>

もりおかクラブ事務所：〒020-0021 盛岡市中央通3-19-22 019-658-8773 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

3月の聖句 マタイの福音書 6章15節



「もし人をゆるさないならば、あなたがたの父も、あなたがたのあやまちをゆるして下さらないであろう。」

「主題」

国際会長	シャナヴィスカーン(インド)
アジア太平洋地域会長	利根川 恵子
東日本区理事	山田 公平(宇都宮)
北東部長	大久保知宏(宇都宮)
もりおかクラブ会長	長岡 正彦

「より良いコミュニケーション」
「太陽の輝きと笑顔」
「ワイズの方向性を見極める」
「クラブのミッションを育てよう」
「リーダーの志を、全力で支えよう」

会長	長岡 正彦
副会長	山口 貴伸
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	東森 聡(たもり)
メネット	井上 優子

2025年5月定例会
日時、場所 5月17日(土)
18時～20時 (第2土曜日)
後日ご案内いたします。
卓話 滝澤 里菜さん(グラ)
ニュージーランドでの研修

会長巻頭挨拶



長岡会長

みなさまこんにちは、盛岡にも春が来ましたね。「こぶし」、「石割桜」、「ソメイヨシノ」がいつせいに咲き出しました。岩手山の頂には大鷲が翼を広げて羽ばたきました。足元にはスイセン、タンポポ、野の草花も眠りから覚めて季節の移り変わりを告げてくれています。

春一番の山菜は「ふきのとう」。ひょっこり現れる新芽は2日経つと花芽が出てしまい、食には適さなくなります。枯草のなかに隠れている新芽を見つけられるかが勝負です。子供のころは苦くて嫌でしたが今は大好きです。こちらでは「ばっけみそ」と言って、湯がいて味噌で和えたものを食べます。



岩手山、山頂の鷲型の雪渓、岩鷲(がんじゅ)、と言います。

ビールなどもそうですが、大人になるとなぜに苦いものが美味しく感じるのでしょうか。だれか教えてください。

全国の地方都市は熊の出没が相次いでいます。熊はいけません。おびえて逆襲してきます。盛岡市内のど真ん中に出てきました。木に登ったところを、吹き矢で麻酔薬を注射して、落ちたところで、ソリで運び出し麻酔が切れたところできついお仕置きをしてから、山深い所で解放したそうです。人里は怖いと知らしめて、「もう来るなよ」、お互いに平和に暮らそう。なぜ人間の生活空間に来るのでしょうか、全く迷惑な動物です。それに対してカモシカはほのぼのします。いまの次期のいたずらは、花を食べてしまうくらいで、人を襲ったりはしません。熊もカモシカも個体数が増えているのでしょう。熊は、母熊が子供を、雄熊から守るために山から里の近くまで降りて来るようです。そこで育った小熊は人里が生活空間になってしまうとのことです。これも個体数の増加が原因でしょう。国の特別天然記念物の「カモシカ」も増えて人里にやって来るようになってしまいました。相手の事を知れば人間がうまく対処できるはずですが、熊は人間が命の危険にさらされますので、駆除しなければなりません。悲しい話です。



青空と桜



老木の桜、1年に一度だけ、

4月定例会の報告

2025年4月12日(土)、アイーナで開催。参加者、三田、長岡、大関、加藤、濱塚、魚住、高橋、井上優子、梶原、中村、以上10名。(敬称略) ゲストリーダー、滝澤 里菜さん(グラ)、渡邊夏生(チューバ)、全12名の出席でした。卓話はグラ、「澄ます耳があれば～NZ で得た意見表明のヒント～」と題して、県立大学で行なわれたニュージーランドでの社会福祉社会の研修と、日本との違いを学習、今後の社会福祉のあり方などを発表していただきました。



三田次期北東部長、梶原さん、長岡会長

かクラブによろこ。心から歓迎いたします。入会の宣誓をいただき、ワイズメンのバッジ、ネームプレートを送り、正式に入会いただきました。立会人は次期北東部長の三田メン、これからYM

そして、今晚のメインイベントは梶原さんの入会式です。卓話をいただき、ゲストの先月に入会申し込みをいただき、本日入会の運びになりました。

た。梶原さん、もりおかクラブによろこ。心から歓迎いたします。入会の宣誓をいただき、ワイズメンのバッジ、ネームプレートを送り、正式に入会いただきました。立会人は次期北東部長の三田メン、これからYM

CAを支え、特にリーダー達の活動のサポートよろしくお願いいたします。

今晚の開会点鐘は、チューバ、もしかして初めてかな。閉会点鐘は、おなじみグラ。リーダーによる開会点鐘、閉会点鐘はおなじみとなり、板についてきました。いいですね。



チューバ、開会点鐘



グラ、閉会点鐘

ワイズメンズクラブでゲストのリーダーに開会点鐘、閉会点鐘をお任せするクラブってどこにありますか。もりおかだけかな。



梶原さんよろこ。4月定例会は大成功。



盛岡には枝垂れた桜が良く似合う、



芝生公園の枝垂れ桜3本



澄ます耳があれば、NZ で得た意見表明のヒント

岩手県立大学社会福祉学科3年 滝澤 里菜



滝澤里菜さん(グラ) いたします。

皆様こんばんは岩手県立大学の滝澤里菜です。今日は県立大学で行われているニュージーランド福祉見学と視察に行ってきた時の学びを発表してまいります。よろしくお願いいたします。

タイトルは「澄ます耳があれば」といたしました。キーワードは「意見表明」です。ニュージーランドで学んだ事を岩手県に持ち

帰り実践するという目標です。

概要は、2月22日から3月6日まで、ニュージーランド南島、クライストチャーチ市で行われました。学生5名、引率1名、日本語を学んでいる現地の学生3名が参加しました。目的は2つ、1つは日本との社会福祉の違いを知り、地域実践の材料とすること。2つ目はニュージーランドで一般的なファンドレイジングの文化を学ぶことです。研修のルールは学生1人につき1家庭、ホストファミリーでお世話になること。休日、朝食、夕食はホストファミリーと共に過ごしました。

ニュージーランドはファミリーファースト社会です。時間を大切

にし、午後3時には会社も学校も終わり時間に余裕があります。夜に家族が集まり、出来事を話す時間を過ごしています。日本文化に触れる機会が多く、日本人会などで茶道や太鼓などをたしなんでいました。

決起集会ではファンレイジングを行いました、「銭湯プロジェクト」という団体と一緒にたくさんお話をしました。「ソーセージシール」なるものを食べました。おにぎりですね。

「Best Start」はNZの幼児教育施設です。一緒に子供達と遊びました。子供たちの姿勢、意見表明の仕方が日本とは違います。一斉保育ではなく、自由に遊んで行動を自分で決めます。幼少期から自分で決める事が出来ています。子供の記録を残すのですが、写真とタイトル、その場で何をしているか、なにを学んでいるか、その学びを伸ばしていく関りを書いていきます。型にはまった記録欄なんてものはありません。シンプルだけど、実践的で次につながる手法だと感じました。形式が自由で、職員の個性を出せて、私も行って見たのですが、自由に行えるので楽しいなと感じました。

震災復興調査ではクライストチャーチ市内の中央図書館と仮設大聖堂、マーガレットマフィパークを回りました。中央図書館では震災を期に市民の意見を反映した施設づくりを行った図書館で、ジェンダーレストイレ、個別の会議室、カフェ、子供のスペース、年代を問わず楽しめる図書館です。仮設大聖堂は、2011年東日本大震災と同じ年、クライストチャーチでも地震が有り、街のシンボルだった大聖堂が崩壊しました。心のよりどころを失ってしまいましたが、日本人がカードボードと呼ばれる、紙でできた素材を使って建設しました。政府は大聖堂をどのように建て直すか市民に意見を聞いて2027年までに再建をする方針のようです。このような事で日本人との繋がりがあって、驚きと誇らしさを感じました。中はスタンドグラスに彩られた光がきれいで、印象的でした。新しい観光地にもなっていました。被災のマイナスを乗り越えて、プラスに転換しているところがすごいと感じました。マーガレット マフィ ファミリー プレイランドは、子供の意見を反映して大人も楽しめるファミリー公園です。年齢に関わらず意見を反映することの大変さと、困難があっても実行する文化に感銘しました。子供の目線で、大人が遊ぶのはとても良い関係ですね。震災復興について、すべての人の意見を尊重し、家族で過ごすことの特徴がすべてに反映されているのだな、と感じました。



日本人のソーシャルワーカーとの対談。CAF と呼ばれる子供若者のメンタルケアを行っているユリさんに話を聞きました。職員の業務負担が大きい事、いじめの増加、貧困問題、福祉課題は日本と共通しています。しかし、若い男性の自殺率が高止まりしているそうです。NZはヨーロッパ文化と原住民文化のバイカルチャーです。まわりの方に対するクライアントやアプローチの特

徴があります。また職員がキャリアアップしても就業時間を短縮できる、柔軟性があるとのこと。オフ時間は絶対仕事はしないと割り切って生活しているとのこと。仕事の時は全力で取り組むと言っていました。

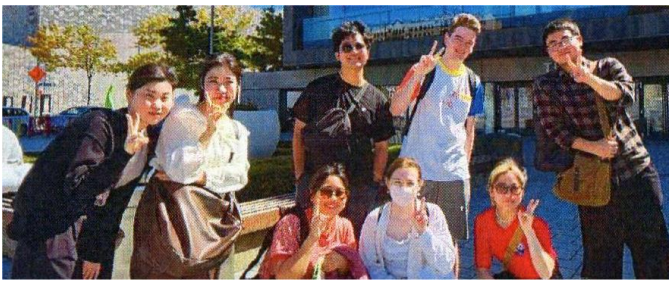


ミドルトングラングラスクールに行ってきました。5歳から18歳までの共学の学校です。アクティブラーニングが積極的に行われていて、日本では先生を中心に受動的な授業の形態が多いのですが、数人の生徒が集まって話し合いながら課題に取り組み先生は必要な時だけアドバイスをするような形態で日本とはだいぶ違うなと思いました。「体が動かないと頭も動かないでしょう」と言っていました。同感です。学校のルールは子供たちが自身で作って紙に書いてサインまでして決定事項を守るという大人みたいな事を子供時代から経験しています。1人の人間として意見表明を行う教育が衝撃的でした。スクールカウンセラーでカウンセリングを受けることに全くネガティブな印象がありませんでした。軽い悩みから深刻な事柄を拾い上げている印象です。

ユニバーシティカンタベリー大学は、インターンの子が所属している大学です。世界トップ1%にランクインしています。NZで2番目に長い歴史を持つ国立大学で社会福祉学科の学生と対談しました。福祉課題は日本との共通点が多いなと感じました。社会福祉のグローバル定義、世界全体で守って行きましょう、目指す方向をととても分かりやすく学習しています。日本との相違点は本人の主張の良し悪しをジャッジしない。福祉的な視点ではなく文化として根付いている事でした。バイカルチャーに基づいて個性を尊重する姿勢が形成されていると思います。ヤングギャングについて重大視されます。若い男性の自殺率が高止まりしていて、マオリ文化に対しての差別や、LGBTQに対しての偏見が原因ではないかと話しておりました。個人を尊重する社会に至っても差別や偏見がある事に少し無力感も感じました。

子育てランチでは、NZで、日本人のママさんパパさんに子育て事情を伺いました。学校と保護者の関わり合いで、ペアレンタルグループ(日本ではPTA)で、学校生活で担う事項が多く、イベントに参加する人数が少なかったら、そのイベントは中止です。自主的な参加が、保護者の孤立を防ぐことになっているようで、保護者のネットワークを確立していました。学校と保護者の距離感が日本より断然近いです。子供たちのトラブル解決が早いです。通知表に自己評価欄があると聞いて衝撃的でした。誉めて伸ばす文化は日本の比ではないと強く感じました。

働き方、「法律で男女、年齢で差別してはならない」と規定しています。マオリ文化は日本と似ていて、男は外で働き、女は家庭を守るという考え方です。しかし今では労働も家事も共同で、男も育児休暇を取りやすい環境が出来ています。仕事の休暇中は



停止です。誰かがカバーして負担を負うのはないそうで、急がないそうです。

ブランケットと言って、5歳未満の子供たちの健康管理を行っています。助産師による家庭訪問、健康診断、おもちゃの貸し出し、離乳食の教育。講習会などを行っています。同年代の子供の親が集まり、集会をもつのですが、お茶やお菓子の提供サービスは無く、会場のかたづけもしなくて良くて、気を使わなく済む工夫がされていて、とても気楽です。このコミュニティは継続することが大切です。重要な社会福祉です。

ツリーフォーカンタベリーは、学生から政府に対して行った意見表明から始まった環境団体で、障害者雇用などを行っています。それが主目的ではなく、環境教育で環境と人間の共生、環

境団体としての活動が主目的です。教えられた事は、目標は毎日達成するものです。小さな目標を立てて、毎日目標達成を繰り返していけばなにかが変わると思いませんか？

ナオイヤは、マオイ文化を反映された不登校支援、若者職業支援、農業と建築を学べる施設です。農業、建築は人材の需要が高くて収入もいいです。安定的な生活が送れます。不登校支援から社会に出るまで支援を続けるのは日本では聞いた事がありません。リスタートの国ですので、転校や転職も普通で、学校や社会が不登校の子を支援してその子に合った施設を見つけて不登校とは呼びません。ナオイヤでは「マナウ」家族です。血縁ではなく、心の繋がりをマナウと呼び暖かさを感じます。

ファンドレイジングでは、ジャパンフェスタスタ、日本文化を体験してもらうイベントに参加して地域実践に使う資金を集めました。説明の重要性や、物品販売だけではなく、サービスの価値を認めてもらうのが大事です。

最後は地域資源調査です。テカポ湖のキャンプです。メンバー全員でプログラムをこなし、盛岡YMCAのキャンプで子供達が経験するような気持ちになり、楽しかったです。星も少し出てくれました。

「フクジュ盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

4月の出席率	10/17	59 %	ゲスト 5 名	メネット	0 名		
メーキャップ	0 名			4 月切手	0 g	累計	189 g
4 月のにこにこ	0 円	累計	0 円	富士宮焼きそば	0 円	累計	0 円
4 月 石鹸	0 円	累計	0 円	りんご	0 円	累計	0 円
4 月 献金	0 円			ファンド合計	円		

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

4月のハッピーバースディ 4/8 三田庸平さん 4/11 濱塚真美メネット 4/16 山口律子メネット
お誕生日おめでとうございます。

福寿草とクロッカスが、お話していました。



フクジュさん

クロカさん

ゆきわりさん

フクジュさん: あったげなあ、やっと春きたなあ。ゆきわりさんはもう寝だみてだ。

クロカさん: おらも起きたよ、フクジュさんおはよう。

フクジュさん: 廻りは枯草しかねなっす。早く起きればいいのに。

クロカさん: ゆきわりさんもそうだけど、春一番の花っこの面目躍如だなっす。フクジュさん頑張るべ。

フクジュさん: んだね、フキノトウや、つくしが起きるまでは俺たちが楽しませねば。

クロカさん: こぶしや、桜が咲くころには俺たちは寝るころになるし、たった2週間だけだ、見てくれるのは。でもいがすんだ、根雪もとげて春だおん、人っこだちみんなあ喜んでらよ。みなさ〜ん春が来ましたよ。おらだちを見てけでえ。

編集後記

グラの卓話は、内容が濃くて盛りだくさん。感受性が豊かなこの子は勉強させるには最高の人材だと思いました。きっと県大の方々もグラをNZに送るのは最高の人事だったと思います。グラ、素敵なお話どうもありがとう。

春の花が咲く順は、雪割草、福寿草、クロッカスの順です。その後はフキノトウ、つくし、こぶし、梅、桜、桜で春爛漫になります。今日は4月27日、昨夜の雨は花散らしでソメイヨシノは終わります。八重桜が咲き出します。山菜は、こしあぶら、タラの芽と食卓をにぎわしてくれます。